

## 今後の中学校プールの整備のあり方について

### 1 本市の施設整備に関する取組方針の経過

- ・平成12年度に「横浜市公共施設の長寿命化の基本方針」が定められ、公共施設の更新期間を延ばすための取組が開始されました。
- ・この基本方針を受けて、ストックマネージャー制度による推進体制の導入や技術面の整備が進められました。
- ・平成21年3月に公共施設の保全と有効活用を図り、保全の効率化を進めるための基本方針として「横浜市公共施設の保全・利活用基本方針」が策定され、その中で、公共施設の質と量を見直すことにより、保全費を縮減することが示されました。

### 2 プールについての検討背景

#### (1) 現況

経年期間	中学校数
経年30年～経年42年	47校
経年20年～経年29年	78校

市立中学校数：145校

平成14年度の中川中学校を最後に、それ以降プールの建替えを行っていません。

#### (2) プールの使用実態

- ・プールは、通常6月から9月の初旬まで使用しますが、夏休みを除くと稼働期間が短いうえに、気候に左右されます。
- ・中学校における水泳授業は、1年・2年で10時間を実施することとしています。

#### (3) 学校の老朽化対策への対応

- ・本市では、491校という多くの小・中学校施設を保有していますが、人口の急増期の昭和40年頃から大量に整備されてきた経緯があり、老朽化が進んでいます。
- ・従来の考え方では既に建替え時期に来ているものもありますが、今後は施設の安全性と基本的な機能を確保しながら、環境対策などの改修も加え、70年程度使用していくことが求められます。
- ・このために、学校施設の量などの見直しとこれに伴う整備手法の検討が不可欠となっています。

### **3 あかね台中学校のプールの対応**

平成23年の開校時には整備せず、開校時から水泳の授業ができるよう民間プール等他施設の利用や他校プールの共同利用を進めます。これにより、教育効果等について検証します。

※市第44号議案「あかね台中学校新築工事（建築工事）請負契約の締結」については、都市経営・行政運営調整委員会に付託されています。

### **4 今後の中学校プール等整備のあり方**

- (1) あかね台中学校における検証結果を踏まえ、指導プログラムの検討とあわせ、今後のプール整備の方針を策定していきます。
- (2) 横浜市公共施設の保全・利活用基本方針（平成21年3月策定）を踏まえ、既存学校施設（プールを含む）全体の再整備計画・手法の検討に着手します。